

大層雲の峡ビヅターセンター



《クマゲラ～ 11月》

全長約45cm～60cm、体重約0.2～0.5kgで日本に分布するキツキ科では最大種（クマゲラのクマは特大の意）です。写真のクマゲラは雌で、後頭部のみ赤い羽毛で被われています（雄は頭頂から後頭部にかけて赤い）。周年で生息していますが、生息環境は、大木のある広い森林です。カラスと間違われることもありますが、大きさはややカラス並みですが、木の幹に垂直に止まる性質や、飛ぶと尾が長く、先がとがっていること、またゆるやかな波状を描いて飛行することで識別できます。（カラスは直線的に飛びます）繁殖形態は卵生で、大木や枯れた木に穴を開けて巣を作ります。（毎年同じ巣を利用します。少なくとも3年は利用します。）4～5月に平均3個の卵を生み、抱卵期間は約半月、雛は6～7月に孵化してから約1ヵ月で巣立ちます。アイヌ語で「チプタ・チカップ」（船を彫る鳥の意味）と呼ばれていました。その名の通り、「舟堀型」と呼ばれる楕円形の穴を掘り、主に樹木の中に巣を作るアリ類を捕食します。（写真のように、樹皮を剥がし、その下にいる昆虫を探すこともあります）生息数は減少傾向のようですが、1965年に国の天然記念物に指定されています。また、環境省のレッドリストによると、絶滅危惧Ⅱ類（VU）とされ～絶滅の危険が増大している種となっています。とにかく鳴き声が特徴的で、飛翔中は「コロコロコロ」、止まると特に甲高い声で「キョーン キョーン」と鳴き、鳴き声で存在を知ることが多いです。



「雪虫ってなあに？」

雪のよじり白く綿毛(本当は分泌物をまとった)冬を告げるよじり白わりと舞う雪虫、何とも美しい名前ですが正式名称は「トドノネオオワタムシ」、大きさは約4ミリ、アブラムシの仲間の昆虫で北海道には数種類いるようです。夏の間(6月以降)はトドマツの木根に寄生します。この期間は、木の汁を吸いながら生活しています。気温が下がる10月以降は、トドマツから離れ産卵の為ヤチダモという別の木に移ります。(我々が見る雪虫はこの時期のもので、トドマツの木にいる間は、子を作る時に雄を必要としない「単為生殖」を行い、その数を何倍にも増やすことが出来ます。(生まれつく子は全て雌です)そして、ヤチダモに移った雪虫は、今度は雄も生むようになります。ここで交尾が行われ、今までの単為生殖ではなく「有性生殖」が行われます。(有性生殖によって越冬する卵が生まれます)雄は、餌を捕る口を持たず、繁殖の為にだけに生きます。寿命はわずか一週間、この間に交尾をします。雄は力尽きて、雌も一個の卵を残して息絶えます。越冬した卵は春に孵化し、再びトドマツに帰り、単為生殖を繰り返します。何ともはかない一生ですが、この雪虫、熱に弱く、人間の体温でも弱ってしまいますが、その数は温暖化の影響で年々減少していくと予想されています。雪虫が舞うと初雪が降ると言われていますが、諸説ありますが、温度変化を感じていることや日の長さの変化、雪虫の餌であるトドマツの養分が変化することが理由とも……。「トキン」「トシバ」などといった俗称もあります。



「ブーブー」ブーブー

お客様「外でブーブーブーブーって何かせしなく鳴くブーブーの音なんですか？」
 この時期には、お客様からの問い合わせもあるほどの「特徴のある鳴き声」。
 そうです、これは笛ではなく動物の鳴き声なのです。
 この独特の鳴き声は「ラッティング・コール」といって、発情期を迎えたオス鹿が発する声で、なわばり主張やさながら自己アピールといったところでしょうか。
 一声で数百メートル先まで届き、発情期に入る十月から十一月にかけてさかんに聞こえてきます。
 強いオスは、数頭のメスを連れてハーレムを作りますが、やはり、日ごろのたゆまぬ努力が必要です。
 メスが他のオスに誘惑されないよう始終目を光らせ、食事もほったらかし……。体重は見る見る落ちてしまいます。
 そしてこれがまた何とも言えず物悲しげで、悲壮感たっぷりの鳴き声なのです。
 秋の深まりというよりは、冬の始まりを連想させる「ネイチャーサウンド」(音)の風物詩なのです。今日もどこかで鳴いています……。



今年の紅葉キ・レ・イでした～

と、思っている矢先の10/16 層雲峡峡谷に初雪が舞い降りました……。
 舞い降りるレベルではなく、激しく降り注ぎましたが……。
 一端はあきらめました、雪が解けて今年も「落ち葉アート」をみることができました。
 これも晩秋のお楽しみの一つです。





		青葉1		やや色づく2		色づき始め3		色づく4		見頃5		色あせ6		落葉7																	
層雲峡		9月										10月																			
日付		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
温泉街	600m	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	7



《層雲峡峡谷～10月》8月下旬「ポン黒岳」の「ウラシマツツジ」からはじまった紅葉も、約1ヶ月をかけて「層雲峡峡谷」に辿り着きました。今年の紅葉は、昨年の遅い紅葉とは打って変わり例年通りの進み具合となり、峡谷の紅葉も9月下旬から色づきはじめ10月の上旬には見頃となりました。その見頃も中旬まで続き、赤や黄が深い色あいとなり近年にはないほどの見事な錦絵となりました。その後、10/16に温泉街では11cmの降雪(初雪)があり、数日経過後落葉へと移り変わっていきましたが、部分的ではありますが10月後半(10/23)まで見頃部が残り、息の長い紅葉となりました。

☆☆☆☆レンズ雲が現れました☆☆☆☆

11月6日午後3時すぎに、ニセイカウシュベ山上空に「レンズ雲」が現れました。多くが高積雲のため、上空高いところに発生します。前線や低気圧が近づいた時に現れやすく、主に山地の近くなどで、風の影響によって山頂付近を湿った空気が昇る際に冷やされてできません。風が強くと吹く・天候が悪化する前兆とされています。また、右下図のように雲は移動していくため、1～2日後には、雨を降らせる乱層雲が近づいてくることとなります。案の定、ここ層雲峡では7日夜半から8日にかけて強い風を伴って、雪や雨が降りました。



暖かい空気(上)

乱層雲〔雨〕→高層雲→高積雲→巻積雲→巻層雲→巻雲
冷たい空気(下)

→ → → 移動方向



観察会のおしらせ

■ 下期観察会のお知らせ ■

12/15 ~ 石狩川原生林
01/12・02/09・03/02
~ スノーシュー 紅葉谷

01/26 ~ 銀河流星の滝

02/23 ~ 清流の滝

03/16 ~ 十勝三股

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★

■ 2012大雪山フィールドノート写真展 ■

【日時】 常時展示

【内容】 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

【場所】 ビジターセンターレクチャールーム



折って切って開いたら、あらすてき♪
子供から大人まで楽しめます。

参加自由・無料/申し込みは不要です



しきものカレンダー

9月↓		黒岳他気象↓		上川層雲峡・気象↓		
9/28	雪虫(清川)	層	10/4	大雪山連峰一帯降雪	9/23	早朝センター前最低気温2℃
10月↓			10/13	五合目雪	9/27	早朝センター前最低気温-1℃ 温泉街霜降りる
10/1	雪虫	上	10/14	大雪山連峰一帯降雪	10/3	上川町日最大瞬間風速16.9m 観測史上四位(10月)
10/6	クマゲラ	上	10/17	七合目積雪1m	10/5	早朝センター前最低気温-3℃
10/12	ハクチョウ	上	10/29	七合目積雪40cm	10/5	早朝センター前最低気温-4℃
10/14	シナリガモ(雌)	層	11/1	七合目積雪10cm	10/16	上川・層雲峡降雪(初雪) 上川4cm 層11cm
10/17	エゾリス	上	11/9	七合目積雪30cm	10/27	温泉街吹雪
10/18	エゾモモンガ	上	11/11	七合目積雪60cm	11/6	レンズ雲発生
10/19	ハクチョウ、カワラヒワ20羽	上	黒岳周辺↓		11/8	温泉街吹雪
10/20	ヤマゲラ	上	9/22	高原温泉沼めぐり見頃	11/9	早朝センター前最低気温-6℃
10/22	オオワシ、ウソ、カワガラス4羽、熊糞	上	9/23	緑岳第一二花畑紅葉見頃	11/10	上川町日最大瞬間風速21.5m 観測史上第一位(11月)
10/23	エゾリス、エゾシマリス、ベニマシコ	上	9/24	黒岳五合目まで紅葉降りる	11/11	層雲峡降雪16cm 上川10cm
10/25	オツネトンボ	上	10/2	温泉街紅葉見頃(ホームページの紅葉カレンダーを参照して下さい)	11/12	早朝センター前最低気温-9℃
10/31	キレンジャク15~20羽(上)、ツグミ40~50羽・エゾリス(層)	上層	10/9	高原温泉沼めぐり終了	11/13	早朝センター前最低気温-13℃
11月↓			10/10	銀泉台林道冬季閉鎖	観測地 : 上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳	
11/1	クマタカ	層	10/11	高原温泉林道冬季閉鎖	カレンダー期間 : 09/21~11/20	
11/2	日暈	層	10/16	愛山溪林道積雪のため閉鎖、その後冬季閉鎖へ		

今年のナナカマドの実は何故多いの???

色々要因はありますが、一つは6~7月のお花の開花時期に天候が良かったこと、また降水量も少なく花粉が落ちなかったため、受粉率が高かったことが考えられます。今年の6~7月は良い天候が続き、しかも降水量は過去の数字と比較すると、異常なほど少ないものになっていました。(気象庁統計情報から)



写真: 11月09日

発行: 大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料

11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2013年11月25日発行

今月の子ビタわ



初雪だけど。。。
降りすぎ~10/16